

きました。

これは、話の内容が低学年向きであったのでやむを得ないことであったと思われます。しかし、幼稚であるという言葉が返ってきたとはいえ、高学年の児童の中にも気をつけようという意識がみられるようになり、多少なりとも上演した効果はあったように思われます。

ただ、口先だけで注意を与えられるだけでなく、自分自身の日頃の姿を客観的な立場からみることによって、効果をあげることができましたので、今後とも続けていきたいと思えます。

16) 筋ジス児のレクリエーション活動について

国立療養所東埼玉病院

渋谷 斌 山川 和正
新堀 裕二

はりを持って過ごしていない筋ジス児たちの生活に変化を持たせ、生き生きとした生活を送らせたということ、生活指導の一環としてレクリエーションを実施した。

その活動は動機づけや興味を起させることに主眼をおき、その方法を次の二つに分けて実施した。その一つは、職員が意図的に計画し、実施するレクリエーション活動で、その主なものはクラブ活動パーティー、院外買物会、間食会、球技大会、季節の行事などである。これらの場合、参加患児を中心にした、成功の喜びの認定、経験の機会の関与などに留意し実施した。

二つ目は、患児が個人及びグループで自主的に実施するレクリエーションで、これは行動するレクリエーションと、観覧するレクリエーションとの二つに分けられ、行動の方は、野球・ホッケー・野球盤ゲーム・砂遊び・ブランコ乗り・車椅子競争・楽器演奏・ゴロ卓球などがあり、これらを自主的に行っている。また、観覧するレクリエーションの方は、テレビ・ラジオ・音楽鑑賞・絵画・声や音楽の録音・読書などを好み、自主的に行っている。これらのレクリエーションの場合、そのグループに入れなため、傍観したり、そのグループになじめなくて、1人で過ごしていることがあるので、グループ及び患児を指導する必要がでてくる。そこで、心理的動揺の把握、活動に参加しやすい雰囲気づくりに留意し、新しいレクリエーションの試みをした。レクリエーション全体を通して、特に、年齢・性別・能力・興味・病状・人間関係の調整等にも気をくばった。

以上のようなことを子供たちに働きかけた結果、レクリエーションに対して、色々な意見をだしてくるようになり、それらをヒントにして、よりよい方向に改良したいいくつかの例を次にあげてみる。

野球の場合、患児は軽いプラスチックのバットを要求し、車椅子の状態ですることができるルールを考え、グローブのかわりに魚網を使用し始めた。魚網でキャッチし、ゴロは魚を抄うようなやり方でボールをとる。野球ができない場合は、病室で野球盤ゲームを楽しんでいる。

ホッケーの場合、自分で車椅子を動かさない患児は電動車椅子でもできる方法やルールを考えたり病室でもできるよう板で枠をつくり、その枠の中でできるやり方を考えるばかりでなく、車椅子上でも扱える軽く使いやすいストックを考察した。

砂遊びの場合、古い机を改良し、その上に砂をおき、車椅子児は車椅子に乗った状態、歩行児は立った状態、または椅子に腰をかけた状態でも砂遊びができるようにした。

レクリエーション活動をした結果、次のような成果を得た。

1. 連帯感が深まり、協調性もつちかわれた。
2. 気分転換となり、情緒が安定してきた。
3. 患児自身がレクリエーションをやりやすいように変えていくようになった。

課題として、レクリエーション活動に対する心理的態度の把握（自発性・個性・興味・関心・充足感・拘束性・満足感等）や生活時間を質的側面から考察し、もっと根底に立って、筋ジス児ができるレクリエーションには何があり、何をどう工夫すれば、それが可能になるか、例えば、筋ジス児の能力や障害の程度に応じたレクリエーションの設備改善・器具・ゲームの考察及び改良などの問題が今後に残されている。

17) 成人 PMD の作業療法に関する研究

国立箱根療養所

古内文夫 大木啓子
久保義信

作業療法はこれを行うことにより、身体・精神面の治療の効果を期待するものであるが、進行性筋ジストロフィー症では身体面の治療効果はあまり期待できない。また従来一部で行われている小児の PMD の作業療法と異なる面も多い。そこで私どもは、国療箱根病院に入院及び Day Care でおこなっている作業療法について検討を加えた。

まず織物作業では、下肢の筋力の低下により、足ぶみ式のものを使用困難の場合が多いので卓上織材が中心となる。また上肢の近位筋の筋力低下のため、スリングまたは Feeder を使用することにより効果のある例がかなりみられている。また、刺しゅうもケースにより非常に効果のあることがある。

木工作业は一般の作業療法として非常に多く用いられているが、PMD では、初期では適応となるが、進行するとあまり行えず、わずかに Sanding などが適応となるのみで、この際スリングなどを使用すると行い易い。

粘土作業は既に小児の PMD に、一部の施設で用いられているが、成人の PMD でも非常に有用である。しかしこれは心理的なものが主要な効果となる。

手工芸作業、従来、小児の PMD にも多く用いられている。私どもが成人の PMD に用いて効果を

↓ 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

はりを持って過ごしていない筋ジス児たちの生活に変化を持たせ、生き生きとした生活を送らせたいということで、生活指導の一環としてレクリエーションを実施した。

その活動は動機づけや興味を起させることに主眼をおき、その方法を次の二つに分けて実施した。